



こんにちは **日本共産党** 中村れい子 市政報告です

きずな

NO. 200 2019-10

発行：日本共産党高槻市議会議員団 市議会議員・中村れい子 事務所／☎569-1114 高槻市別所中の町3-7 ☎681-8480 自宅／古首部町2丁目15-8-606 ☎685-6686

市の財政は、昨年5億円の黒字決算で健全財政を維持 北部地震、台風被害で前年度より収入、支出が膨らむ

昨年は、安満遺跡公園整備・市役所耐震化、災害対応などで支出が増えたため、基金が増えたため、基金を51億4千万円取り崩しました。年度末の基金残高は347億4千万円あります。財政調整基金は年度間の調整と目的一样で、特に使う目的はなく何にでも使えます。それが160億円あり、19億円を災害対応のために取り崩しましたが、こういうときに使う財源です。これから、市民会館の建てかえや学校の建てかえなどで、財政が厳しくなりますので、計画的に実施することや、国の補助を増やすことなども必要です。

9月議会的一般質問で、市営バスの役割、無料乗車証の効果について、廃プラスチックへの対策について質問しました。その一部を掲載します。

市バス障がい者無料乗車証の効果

障がい者無料乗車証の効果について、障がい者手帳を持っている市民13,886人に対して、市営バス乗車券ICカードを交付しています。その効果をお答えください。

9%の人が利用されており、病院や買い物障害者福祉サービス事業所への通所にも利用されています。バリアフリー対応の市営バスを使うことで、外出の機会が増えるなど、障がい者の自立と社会参加を促進しています。



無料乗車証の見直しではなく市補助額を実態に合ったものに

高齢者の生活実態

高齢者の健康寿命を伸ばしている効果などがあり、高槻市の健康寿命は大阪府内で2番目に長くなっています。また、介護保険の認定率も、16.5%と府内の市の中で一番低い状況です。それだけ介護保険事業の市の負担も少なくてすんでいます。

高齢者の実質収入は4年前と比較して減少しています。厚生労働省の実態調査では年金収入が100万円から150万円未満の65歳以上の世帯では年間の支出は163万円になり、不足額は単純計算で48万円から98万円になります。基礎年金が月額6万5千円と少ないことが高齢者の貧困を深刻にしております、65歳以上の生活保護受給者が増えています。市の調査でも、収入が100万円以下の人では仕事に行くのに高齢者パスを利用している人が多く、病院に行くにも多くの方が利用されています。生活を支える一部になっていきます。高齢者パスの効果と制度を続けてきた理由をお答えください。

高齢者の健康増進、社会参加等への配慮はしながら、補助金や受益者負担のあり方など多角的に検討していきます。

高齢者無料乗車証は1972年から始まり47年になり、市民の中に根付いています。検討をするのは、21年間6億円に据え置いている市の補助金です。収入の少ない高齢者に負担を求める見直しはすべきではないです。

高齢者無料乗車証の効果

2016年3月に市は「市営バス高齢者無料乗車証制度について利用実態アンケート調査」の結果を発表しました。経済効果は32億円のほかにも、外出す

市の答弁

高齢者の健康増進、社会参加等への配慮は

使い捨てプラスチックの利用を削減し、温暖化効果ガスの排出抑制を

ごみ問題は、出された廃棄物をいかに処理するのかわではなく発生抑制と分別・資源化によりごみを減らしていく資源管理、地球環境保全の課題です。また、住民とともにすすめることが大事な問題です。そして、大量生産、大量消費、大量廃棄の矛盾を正面から問い、拡大生産者責任の徹底で持続可能な社会をつくる課題です。その観点から質問をします。

使い捨てプラスチックの使用禁止を

使い捨てのプラスチック容器であるコップや皿、ストロー、レジ袋の禁止を決めている国や地域があり、世界では「脱」プラスチックへの動きを強めています。しかし、日本ではプラスチックごみの半分を焼却処理し、使い捨てプラスチックの大量生産、大量販売、大量消費を野放しにしています。環境省の「プラスチック資源循環戦略」でもプラスチック製品を使い続けることを前提にごみ焼却を推進しています。

そういう中、今年2月の閣議決定で、政府は4月から中央省庁や裁判所などの国の機関で、ペットボトルや使い捨てコップなどのプラスチック製品・容器の使用禁止を決めました。

環境省は、ペットボトルについて「国内の飲料容器の7割以上を占め、年間の販売量は236億本の上で、今回の脱プラスチックで、年8万5千本のペットボトルをへらせる」としています。政府自らが、限定

レジ袋削減の取り組み

レジ袋の使用については北摂各市と協力してスーパーなどでの、レジ袋の削減に努めてきました。もう一歩踏み込んで、ドラッグストアやコンビニ、小規模の店舗などでも、

「北摂マイバック持参促進・レジ袋削減協議会」で具体的に働きかけを行っている。

プラスチックごみの焼却削減を

二酸化炭素排出量を削減するために市のプラスチック製容器の焼却処理方針を変更する

市役所での使い捨てプラスチックの対策は検討する。

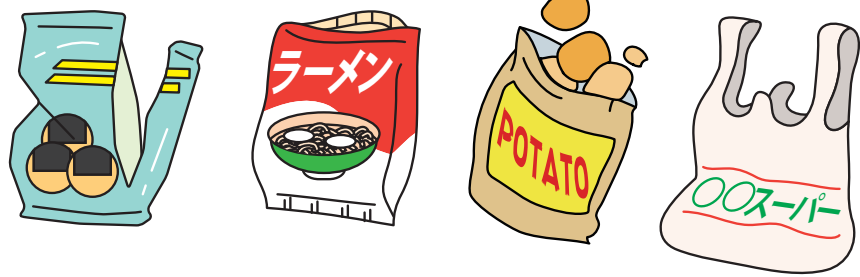
「北摂マイバック持参促進・レジ袋削減協議会」で具体的に働きかけを行っている。

市役所内だけでも使用禁止にすることを、検討するべきです。マイボトルを持っている人が、水を補充できる機器を設置することや、ペットボトルでの飲み物の提供はやめることなど検討をすることが必要ではないです。

市役所での使い捨てプラスチックの対策は検討する。

「北摂マイバック持参促進・レジ袋削減協議会」で具体的に働きかけを行っている。

市役所内だけでも使用禁止にすることを、検討するべきです。マイボトルを持っている



事前に必ず連絡をください



市会議員 中村れい子

市政相談日は 毎月、第2土曜日です

場所：中村れい子事務所 別所中の町3-7 時間：朝10時～昼12時まで
TEL 681-8480 / 自宅 TEL 685-6686